



平成22年度(2010年度)大津市立粟津中学校

# 第4回校内研究会

平成23年1月17日(月)

■研究テーマ「“学び合い”から理解を深める教室づくり」

## <本日のねらい>

- ①「生徒に考えさせる, 気付かせる」ために, 教師の役割(聴く, つなぐ, もどす)のあり方を探る。
- ②授業の工夫改善に努める。
  - ・教師の言葉を減らす。
  - ・教室を活性化させる課題の設定。
  - ・実物を持ち込む。
  - ・適切な作業を取り入れる。
  - ・視聴覚機器(テレビ)の活用。 など

## ●平成21年度の課題●

- ・教師がしゃべりすぎている。もっと言葉を減らすことが必要。
- ・講義形式の授業に終始せず, 生徒同士の話し合いを増やすこと。
- ・グループ学習の生かし方, 課題の与え方, 家庭学習の考え方など。

## <授業を見るポイント>特定のグループ・生徒に着目して観察してください。

- ①生徒はどこで学んでいたか、いなかったか
- ②教師はどのような働きかけ・工夫をしたか

## ■日 程

午前中の公開授業(1年所属教師全員)

校時	学級	教科	授業者	単元名	場所
1	2-5	数学	藤川 尚己	四角形	少人数B
1	1-5	英語	辻井 良太	現在進行形の疑問文	1-5教室
1	1-3	数学	西田 雄一	図形の移動	1-3教室
2	1-1	理科	小幡 理	水溶液の性質	第3理科室
3	1-2	音楽	中村 圭浩	リズムドリルとアルトリコーダー	第3音楽室
3	1-4	国語	川畑 静香	少年の日の思い出	1-4教室
4	1-1.2	体育	土屋 博子	ダンス	体育館

13:10～ 帰りの会(全学年), 下校, 部活動なし

13:30～ 5校時 1年 4組 <教科:社会> 授業者:西本 仰  
「モンゴルの襲来と日本」 場所:1-4教室

14:20 5校時終了, 下校

14:35～ 全体研修会(於:視聴覚室)

・学校長挨拶 5分 14:35～14:40

・実践発表 20分 14:40～15:00

・公開授業研究協議 50分 15:00～15:50

・指導講話 50分 15:50～16:40

小牧市少年センター所長・倉知雪春先生

・謝辞・挨拶(教頭) 3分 16:40～16:43

■役割分担 司会(平松) 記録(小幡)  
会場設定(河原林・東) 連絡調整接待(寺西)

☆ 午前中の公開授業は出来る限り一人一つは参観をして下さい。(研究協議で話題にあげて貰っても)

☆ 外部よりの参観がある予定

☆ 粟津中学校区内の保・幼・小・中学校に案内を出す。保幼小中連携推進事業の一環。

# 「実践交流」の持ち方について

## 1. 実践交流のねらい

- (1) 「学び合い」を生かす授業実践について、各教科で取り組んでいる内容を発表・交流し、教科の枠を越えてその成果と課題を共有する。
- (2) 発表者の立場では、自分の実践をあらためて見つめ直す機会とする。また聴き手の立場でも、積極的な姿勢で発表を聴いて、自分の実践を比較し見つめ直す機会とする。
- (3) お互いの実践から学び合うことを通して、教師間の同僚性を高める。

## 2. 実践交流の内容、方法

**内 容**：「学び合いを生かすヒット授業案」にもとづいて実施した授業について、生徒の反応や得られたこと、課題として残ることなどを発表する。

**発表者**：発表者を4～6人設定する。今回は3年生から。

**聴き手**：発表者以外は聴き手となる。4～6人の発表者の中からひとつのブースを選ぶ。

：1つの発表に対して、質問や感想等を必ず1人1発言する。

：4～6人の発表に対して聴き手の人数がほぼ均等になるよう、その場で調整する。

：記録メモを取って発表者に手渡す。

## 3. 発表者（3年生所属の以下の4～5名の先生方をお願いします）

① 武田 T    ② 金澤 T    ③            ④

## 4. 発表者が準備する資料

・まとめレポート（A4用紙1枚、最大でも2枚まで）

【指導略案】＋【授業の様子、成果と課題、授業を終えての所感、生徒の感想など】を必要に応じて

本年度最後の研究会です。次年度に向けての良い話し合いになりますように。この機会にどんどん出しあって、内容を深めていきましょう！

学び合う生徒達の姿から、我々も学び合っていきましょう！

